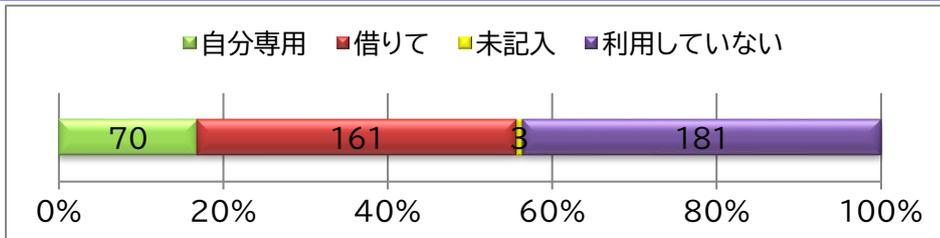


インターネット利用に関する実態調査【小学生(下学年)対象】結果

- 1 実施時期: 令和3年11月~12月
- 2 対象: 町立小学校児童(下学年: 1~3年生)
- 3 調査方法: 学校においてアンケート用紙で回答
- 4 回答数: 415件 (学年別内訳: 1年生 114件 2年生 159件 3年生 142件)

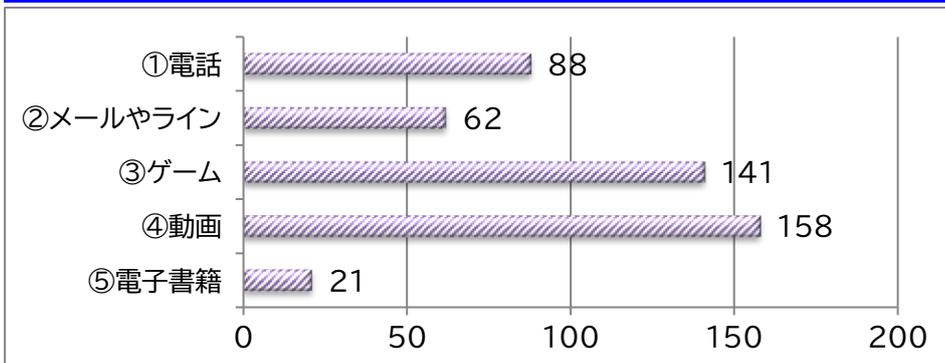


1. 携帯電話やスマホの利用状況



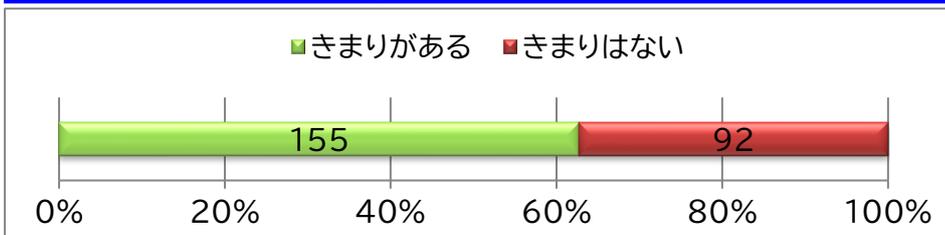
自分専用のスマホ等または借りて利用との回答が約56%となり、半数以上の児童がスマホ等を利用しているようです。

2. スマホの使い方(複数回答)



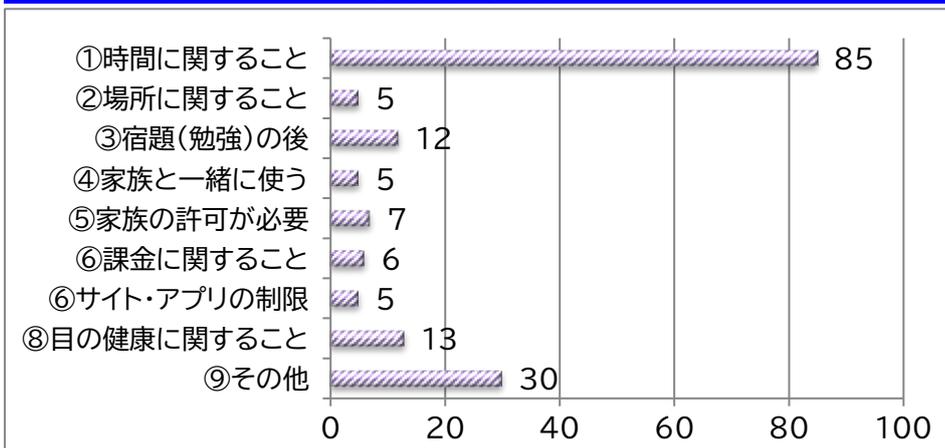
動画やゲームなどインターネットサービスでよく使われているようです。動画は約38%、ゲームは約34%の児童が利用しています。

3. スマホ利用のきまりの有無



「きまりがある」との回答が約63%でした。低学年保護者の回答(約71%)と比べるとやや低いので、きまりについて家庭内で共通認識を持つ必要があります。

4. スマホ利用のきまりの内容(記述回答)



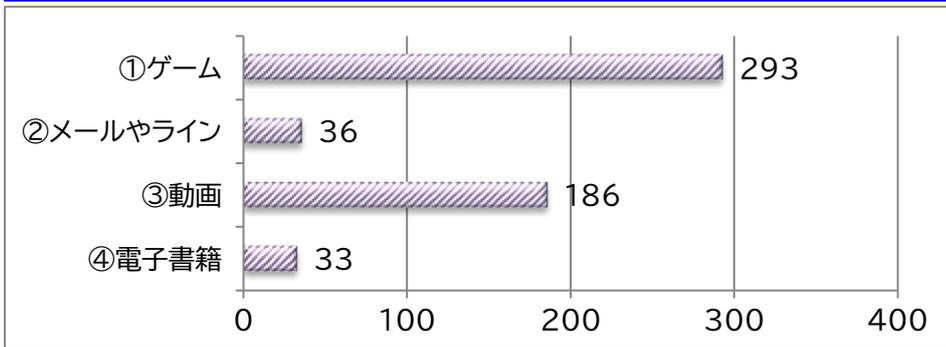
突出して多いのは「何時間まで」「何時以降しない」など時間に関すること。次いで、「離れて見る」「暗いところではしない」など目の健康に関することでした。その他の内容では、「へんところはつつかない」や「やめろと言われたらやめる」などの回答がありました。

5. ゲーム機やタブレットの利用状況



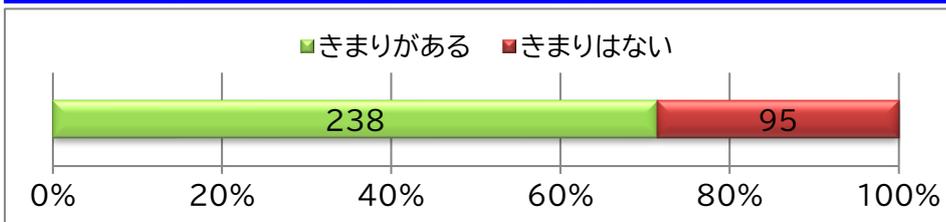
約半数の児童がゲーム機やタブレットを持っているようです。「借りて使用している」とあわせると約79%の児童がゲーム機やタブレットを使用している状況です。

6. ゲーム機やタブレットの使い方(複数回答)



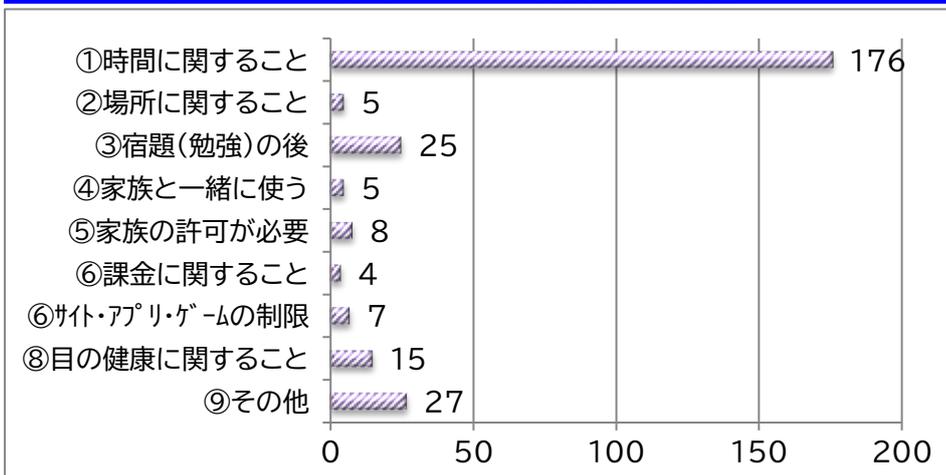
ゲーム機なので、もちろん一番多い回答は「ゲーム」でしたが、次いで多かったのは「動画」でした。動画はインターネットに接続しないと視聴できないので、少なくとも約45%の児童はゲーム機等でインターネットを利用していることになります。

7. ゲーム機やタブレット利用のきまりの有無



ゲーム機等は利用者が多いせいか「きまりがある」との回答がスマホより多く約71%でした。

8. ゲーム機やタブレット利用のきまりの内容(記述回答)



スマホと同じく突出して多いのは時間に関することで、次いで「宿題の後」でした。その他の内容では、「やることをぜんぶやってから」、「ごはん中はしない」などがありました。ゲーム機の場合は、何時間使用したら電源が切れるなどの設定ができるため、その機能を利用している様子もありました。

【まとめ】

- 約17%がスマホを、約49%がゲーム機等を所有している。
- 借りて利用を含めると、約56%がスマホを、約79%がゲーム機等を利用している。
- スマホもゲーム機等も動画視聴やゲームでの利用が多い。
- スマホやゲーム機等を利用している低学年児童の約3割は利用に関するきまり(ルール)はないと認識している。
- きまりの内容は時間に関することが最も多く、使い過ぎを心配している様子が伺える。

もっと詳しい内容が知りたい方はこちら

